

＜対策のポイント＞
デジタル情報やICTにより資源管理や生産管理を行うスマート林業を推進するとともに、早生樹等の利用拡大、自動化機械や木質系新素材の開発等を行い、自然状況等に左右され収穫まで超長期を要する林業特有の課題を克服し、生産性・安全性等を飛躍的に向上させる「林業イノベーション」を進めます。

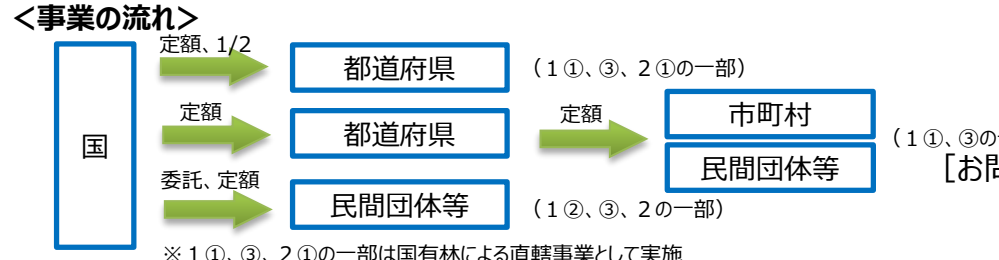
- ＜政策目標＞
- 国産材の供給・利用量の増加（30百万m³〔平成30年〕→40百万m³〔令和7年まで〕）
 - 自動化等の機能を持った高性能林業機械の実用化（9機種〔令和6年度まで〕）
 - 森林施業の効率化・高度な木材生産等を可能とする「スマート林業」や低コスト造林モデルの導入（全都道府県〔令和6年度まで〕）

＜事業の内容＞

＜事業イメージ＞

1. スマート林業の推進
- ① 森林資源デジタル管理推進対策 182,300（－）千円
レーザ計測等による森林資源・境界情報のデジタル化、当該データを活用した効率的な路網設計を支援するソフト等の導入を支援します。
 - ② ICT生産管理推進対策 30,000（－）千円
レーザ計測による森林資源データの解析・管理手法の標準仕様の作成、当該データを活用した木材生産管理に係るシステム標準仕様の作成を支援します。
 - ③ 革新的林業実践対策 515,146（－）千円
ア ICTを活用した「スマート林業」、リモートセンシング技術等の活用による低コスト造林など、従来の方法を見直した革新的林業の実践を推進します。
イ 国有林のフィールドを活かし、施業の効率化・自動化を実現するためのICT等先進的技術の実証・導入を実施します。

2. 生産性・安全性・収益性向上に向けた技術開発等
- ① 早生樹等優良種苗生産推進対策 128,824（－）千円
早生樹種穂の採取源の充実、無花粉エリートツリーの開発など優良種苗の供給拡大を支援します。
 - ② 省力化機械開発推進対策 114,000（－）千円
木材生産や造林作業の自動化等に向けた機械開発を支援します。
 - ③ 新素材による新産業創出対策 80,000（－）千円
改質リグニン、CNFなど木の成分を使用した新素材の技術開発・実証を支援します。



革新的林業実践対策
上記条件整備とあわせ、革新的な取組を現場で実践

生産性・安全性・収益性向上に向けた技術開発等

早生樹等優良種苗生産推進対策

林業の時間軸を変える早生樹やエリートツリーの活用等

省力化機械開発推進対策

生産性向上、労災防止に資する自動化機械の開発

新素材による新産業創出対策（イメージ）

セルロースリグニン等
木の成分を使用した新素材の技術開発・実証等

【お問い合わせ先】

(1①②の事業)	林野庁計画課	(03-6744-2300)
(1③、2①の事業)	林野庁整備課	(03-3502-8065)
(2②③の事業)	林野庁研究指導課	(03-3501-5025)